

付録 6

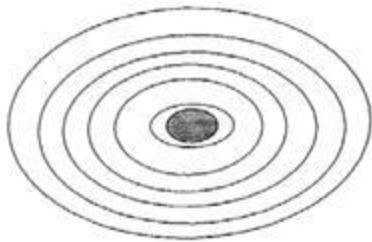
神の偉大さ

第 39 章 67 節から、神の偉大さは人間の理解を遥かに超えていることを学ぶ。その節には、7 つすべての宇宙が「神の手の中に折りたたまれている」と記されている。

コーランの驚異的な数学的コードに裏付けられ、私たちの宇宙は 7 つの宇宙の中で最も小さく、最も内側にあるものであると教えられている (41:12, 55:33, 67:5, & 72:8-12)。一方で、科学の進歩により、私たちの銀河系 (天の川銀河) は直径 10 万光年であり、私たちの宇宙にはそのような銀河が 10 億個、そして 10 垓 (10 の 21 乗) 個の恒星、さらに無数の天体が存在することが分かっている。私たちの宇宙は、200 億光年を超える距離に及ぶと推定されています。

星を数えてみよう！

もし 100 京 (10 の 18 乗) 個の星だけを取り出し、単にそれらを (0 から 100 京まで) 昼夜を問わず 1 秒に 1 つずつ数えたとしても、320 億年 (宇宙の年齢よりも長い時間) かかり。ただ「数える」だけでそれほどの時間がかかる。しかし、神はそれらを「創造」された。これこそが神の偉大さである。



宇宙旅行に出かけると想像すれば、私たちの宇宙の広大さを実感できる。地球を離れて太陽に向かうとき、光の速さ (光速) で進んでも、9300 万マイル離れた太陽に到達するのに 8 分かかります。私たちの銀河系を出るには、光速で 5 万年以上かかります。天の川銀河の外縁から見れば、私たちの惑星、地球は目に見えない。どんなに強力な望遠鏡でも、この小さな「地球」を検知することはできない。

隣の銀河に到達するには、光速で 200 万年以上費やさなければならない。そして私たちの宇宙の外縁に到達するには、光速で少なくとも 100 億年を要します。宇宙の外縁から見れば、天の川銀河でさえ大きな部屋の中の塵の一粒のようなものです。

第 2 の宇宙は私たちの宇宙を包み込んでいます。第 3 の宇宙は第 2 よりも大きく、といった具合に続いていきます。より正確には、私たちの宇宙は「第 7 の宇宙」と見なされるべきであり、それが第 6 の宇宙に包まれ、さらにそれが第 5 の宇宙に包まれている……という構造

である。最も外側にある「第 1 の宇宙」の広大さを想像できるだろうか？ 第 1 の宇宙の外周を記述できる数字など存在しない。この理解不能な広大さが、「神の拳（こぶし）の中」にあるのである。最も外側の宇宙の外縁から見て、地球はどこにあるのだろうか？ どれほど重要な存在であろうか？ 地球という極小の塵の上で、マリア、イエス、ムハンマドといった微小な生き物たちが生きていました。それなのに、一部の人々はこれらの無力な人間を神として祀り上げているのだ！

神の偉大さは、7 つの宇宙を御手の中に収めているという事実だけでなく、大宇宙のあらゆる場所にあるすべての原子、さらには亜原子レベルの構成要素までも完全に支配しているという事実によっても表されている（6:59, 10:61, & 34:3）。